

平成 28 年 12 月 5 日

東京都知事  
小池 百合子 殿

東京都議会自由民主党  
幹事長 高木 けい

## 「2020 年に向けた実行プラン（仮称）」策定に関する提言

リオデジャネイロにおけるオリンピック・パラリンピック大会も成功裏に閉幕し、次の東京 2020 大会の開催に世界中の注目が集まっています。オリンピック・パラリンピックの成功は誰もの共通した願いであり、大会開催まで残り四年を切る、まさに現在は、大会の成功を目指し、総力を挙げて、大会準備を加速化していくべき大変重要な時期となっています。

また、東京都長期ビジョン策定後の都政を巡る社会経済情勢の変化や都民の様々なニーズを的確に捉え、柔軟に対応して都政を常に刷新させていくことは都政を担う者として当然の心構えであります。その一方で、待機児童の解消を始めとした少子化対策や、首都直下地震への備えなど、東京が直面する課題は変わることはなく、これらに引き続き正面から取り組み、政策を加速化・強化していかなければなりません。

こうした状況の中、先の 11 月に知事は、「2020 年に向けた実行プラン（仮称）」の策定に向けて「コンセプトと主要政策の方向性」を発表しました。

同コンセプトでは、我が党の政策提言を踏まえて策定された長期ビジョンが示す政策の大きな方向性を継承するとしています。重要なことは、都政の現実を十分に踏まえ、議会とともに長期ビジョンによって積み上げてきた政策を、しっかりと進めることです。

都政の区切りである二〇二〇年まであと四年、その限られた時間の中で、東京都議会自由民主党は、山積する課題を一つ一つ迅速かつ的確に解決し、都民の与党としての役割を精一杯果たしていきます。そこで、今後の大事な四年間の都政の方針を示す実行プランにおいて、下記の事項について反映していくことを提言します。

### 記

#### 1 東京 2020 大会の成功を起爆剤に東京を世界で一番の都市に

- 東京 2020 大会の成功に向け、総経費に留意しつつ準備の加速化を図ること
- ラグビーワールドカップ 2019 と一体となった機運醸成を図ること
- 有形無形のレガシーを次世代に継承し、都民生活の向上を図ること
- 外国人サポーターや観客の受入体制を強化すること
- ポータルサイトの活用など、大会関連の調達等に関し、幅広いビジネスチャンス  
を全国に展開すること
- 「アクセシビリティ・ガイドライン」を十分踏まえ、ユニバーサルデザインのま  
ちづくりを推進すること
- マラソンなど、屋外競技での暑さ対策を推進し、都内各地へ展開していくこと

## 2 テロや災害に強い安全・安心な東京の実現

- 熊本地震の支援の経験から得られた教訓を生かし、首都直下地震発災時の迅速かつ的確な対応が可能となるよう万全の備えを講じること
- 木造住宅密集地域の不燃化を推進すること
- 特定緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化を推進すること
- 東京の空から電柱をなくすため、電柱のない安全で美しいまちの形成を促進すること
- テロの未然防止やサイバーセキュリティ対策に総力をあげることに

## 3 子供が健やかに育ち女性が活躍できる東京の実現

- 国の動向なども踏まえながら、更なる待機児童対策の強化を図ること
- 保育人材の確保・育成・定着を推進すること
- 結婚・妊娠・出産・育児・教育のそれぞれのステージで積極的な支援を行うこと
- 都営住宅等や都有地を活用して、子育てしやすい住環境を整備すること
- ソフト・ハードの両面における女性が活躍しやすい環境の整備など、女性がいきいきと活躍できる社会を実現していくこと

## 4 お年寄りがいつまでも安心して暮らせる東京の実現

- 在宅療養体制・医療提供体制の充実など、大都市東京にふさわしい地域包括ケアシステムの構築を図ること
- 認知症高齢者に適切に対応するため、より身近な地域で医療・福祉・介護の支援を受けることができる体制を構築すること
- 介護人材の確保・育成・定着を推進し、増加する介護サービス需要に対応すること
- 生活習慣の改善を推進するなど、都民の健康寿命の延伸に向けた取組を進めること

## 5 誰もが輝き活躍する東京の実現

- 一億総活躍社会の実現に向け、都民一人ひとりが地域で力を最大限に発揮でき、生きがいを持てる社会を実現していくこと
- 高齢者、女性、非正規労働者、障害者などすべての人が活躍できる社会を実現していくこと
- 家庭の経済状況に左右されることなく、学び続けられる環境整備のため、都独自の給付型奨学金を創設すること
- 理数教育を拡充し、技術立国を支える人材を育成すること
- 学びの場を国際化するなど、国際社会で活躍できるグローバルな人材を育成すること
- 特別支援学校における教育環境整備や就労支援を充実させること

## 6 後世に誇れるクリーンで美しい東京の実現

- 水と緑に囲まれた、潤いを実感できる魅力的なまちづくりを進めること
- 軌道緑化など、都心の空間を最大限有効活用した緑化を推進すること
- 再生可能エネルギーの導入を進め、まちの活動を支える、環境にやさしいスマートエネルギー都市の実現を図ること
- 地球温暖化対策として環境対応型住宅の普及に向けた取組を推進すること
- 海や川の水質改善により健全な水循環を回復し、魅力的な水辺空間の創出に取り組むこと

## 7 力強い経済で日本の成長を支える東京の実現

- ものづくり産業の復活や、ロボット、医療機器などの成長産業の育成を図ること
- 東京に海外企業を誘致し、都内中小企業等とのビジネスマッチングを進め、東京に新たなビジネスチャンスを創出すること
- 女性が生き生きと活躍できる社会の実現に向け、起業のサポートや資金確保など、創業を希望する女性の支援を充実すること
- 事業承継や海外展開など中小企業の持続的成長を支援すること
- 商店街を元気にし、地域を活性化すること
- 都内産の農林水産物等を活用し、東京の各地で新たな特産品の開発や普及を図ること
- 東京と地方が連携した観光・産業の振興に取り組み、日本のさらなる発展を目指すこと

## 8 世界有数の文化観光都市・東京の実現

- 旅館などの宿泊施設の案内表示等の多言語化、トイレの洋式化を支援するなど、外国人旅行者の受入環境の整備を図ること
- 世界で一番トイレのきれいな東京を実現すること（東京トイレ革命）
- 都立文化財庭園の活用などによるおもてなし空間を整備すること
- 祭りや伝統工芸品など、江戸東京ならではの魅力を向上させ、世界から多くの外国人旅行者が訪れるまちにすること

## 9 ヒトとモノの流れがスムーズに行きかう活気ある東京の実現

- 骨太で、将来のレガシーとなる都市づくりのグランドデザインの策定を進めること
- 三環状道路をはじめ首都圏を支える道路ネットワークを重点整備すること
- 今後の東京港の機能強化を図るうえで、環状2号線をはじめとする臨海部の道路ネットワークの充実を図ること
- 東京2020大会の開催に向け、世界最大級のクルーズ客船に対応可能な、大型クルーズ客船埠頭の整備を着実に進めること
- 世界の都市間競争を勝ち抜くため、羽田空港や東京港の機能強化を図ること
- 鉄道の連続立体交差化を進め、スムーズで安全な道路交通を実現すること
- 老朽化した道路、橋、上下水道などのライフラインの維持・更新を積極的に進めること

## 10 魅力あふれる多摩・島しょ

- 多摩の産業集積を活かし、地域経済を活性化すること
- 多摩・島しょの豊かな観光資源をフルに活用した観光振興策を展開すること
- 世界自然遺産・小笠原諸島をはじめ、多摩・島しょの豊かな自然環境の保全を図ること
- 小笠原空港の実現に向けた調査に着手すること
- 多摩・島しょにおいて災害に強いまちづくりを目指した取組を推進すること